

建築保全企画研修の研修員を募集します！【ハイブリッド研修】

～建築物のより良い保全や長寿命化に向けた幅広い知識を総合的に修得できます！～

この研修では、公共建築物の保全の企画や指導業務に必要な専門知識について、総合的に学びます。

具体的には、関係法令等の動向等を学ぶほか、現場経験豊富な民間企業の講師から保全業務の実務を、先進的な地方公共団体の講師から施設管理の取組事例等を学びます。座学のほか、課題研究、演習（建築物の点検・確認、中長期保全計画の作成）、現地調査を予定しています。

本研修は、WEB会議システムを活用したオンライン期間と大学校で行う集合期間を併せた「ハイブリッド研修」で実施します。

■研修内容

1 座学

営繕行政の動向、保全関係行政の動向、保全に関する法令と基準類、建築物の安全性確保について、建築物の劣化診断、電気設備の劣化診断、機械設備の劣化診断、保全業務の情報化、省エネのための運用改善方策、維持保全を考えた企画・設計、施設管理における公的機関の取り組み、公共のファシリティマネジメント、これからの公共施設経営、建築保全業務の実務、公的機関における公共施設マネジメントの取り組み、ファシリティマネジメントに基づく具体的な取組みとその実践例、施設管理者の法的責任、オフィス改革と知的生産性の向上 -ファシリティマネジメントによる改善事例のご紹介-

2 課題研究等

課題研究 モデル施設等に係る「個別施設計画」の策定

演習Ⅰ 建築物の点検・確認 既存施設を対象に「保全の基準の実施の要領」により「支障がない状態」であることを確認

演習Ⅱ 中長期保全計画の作成 中長期保全計画作成用エクセルデータを用いて、中長期保全計画を作成

現地調査 既存施設における保全手法等を現地にて確認

■対象者（定員40名）

国土交通省、他府省、都道府県、政令指定都市、特別区、市又は独立行政法人等の職員で国・地方公共団体の庁舎等公共建築に係わる保全企画・指導業務を担当し、次のいずれかに該当する者

- ① 地方整備局の課長補佐、係長又はこれらと同等の職にある者
- ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者

※例年、地方公共団体や独立行政法人等の参加も多くみられます。

■研修期間・場所・経費

期間：令和5年7月24日(月)～8月3日(木)9日間

(オンライン：7/24～7/28 集合：7/31～8/3)

場所：オンライン期間 Microsoft Teamsが接続可能であれば
官署・自宅の指定は行いません。

集合期間 国土交通大学校小平本校
(東京都小平市喜平2-2-1)

経費：食費 1,550 円/日 寮費 1,250 円/日、
テキスト代等(予定) 30,000 円(税込、別途送料がかかります)
現地調査移動経費 3,000 円程度

■募集期間 **令和5年6月1日(木)まで**

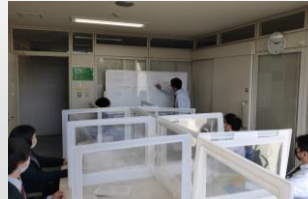
■研修のイメージ (オンライン講義の様子)



※研修員はPC画面を通して受講します。

※Microsoft Teamsが接続可能であれば官署・自宅の指定は行いません。

(班別討議の様子)



※班別討議のイメージです。
※パーテーションなどで感染対策を講じ、3密を避けて実施します。

募集状況については、国土交通省ホームページ「国土交通大学校からのお知らせ」にも掲載しておりますので、ご覧下さい。(https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_008884.html)

■前回参加者の声(概要)

- 国の方針や動向、他の地方自治体の取組等を講習を通じて理解できた上、実地研修等もあり、先進的な取り組みやシステムを知ることができた。コロナウイルス感染対策もあるなか、短い時間ではあったが班別討議等、参加者同士で学ぶことや交流もできた。(地方自治体職員)

問い合わせ先：

国土交通大学校 計画管理部

建築科 小林・田中

直通 042-321-7074

FAX 042-321-7081

col-keikakukanri3@gxb.mlit.go.jp